

犬塚甘吉 いぬづか かんきち 善庄内藩儒、書家。天保九年二月二十一日出羽國鶴

岡生れ、大正元年九月二十四日歿（八三六―一九二二）。講盛正、のち守政、

字施伯、幼名甚太郎・甚之助、通稱又兵衛・又兵。前號椿園、蕭澤。

藩塾致道館教授。明治十八年以降師範、中學教員として各地を廻り、

三十二年岡崎第一師範學校に赴任。四十一年辭職後東京に轉居。晩年

『國分史』を著はし、その宣傳と揮毫の旅の途次、岐阜縣多治見の放

館に邂逅。また妻錦子（天保九年生れ、明治二十四年歿）は海上胤平

門の歌人、歌集『竈前集』を遺した。

